

かわさきしがいこくじんしみんだいひょうしゃかいぎ  
川崎市外国人市民代表者会議

ねんじほうこく  
年次報告

＜2012<sup>ねんど</sup>年度＞

かわさきしがいこくじんしみんだいひょうしゃかいぎ  
川崎市外国人市民代表者会議

ねん がつ  
2013年3月

かわさきしちょう あべ たかお さま  
川崎市市長 阿部 孝夫 様

かわさきしがいこくじんしみんだいひょうしゃかいぎ  
川崎市外国人市民代表者会議

いん ちょう わん びん  
委員長 王 平

ふくいんちょう しやるま がじえんだー  
副委員長 シャルマ ガジェンダー

## ねんどかわさきしがいこくじんしみんだいひょうしゃかいぎ ほうこく 2012年度川崎市外国人市民代表者会議の報告

だい きかわさきしがいこくじんしみんだいひょうしゃかいぎ ねん じめ ねん がつ にち ねん がつ にち かい よう か  
第9期川崎市外国人市民代表者会議の1年次目は、2012年4月22日～2013年2月17日まで4回(8日)  
かいぎ りんじかいぎ おーぶんかいぎ くわ ごうけいここのか かいぎについて しゅうりよう  
の会議と、臨時会議であるオープン会議を加えた合計9日の会議日程を終了しました。

ちょうさしんぎ けっか ほうこく  
ここに調査審議の結果をまとめ、報告します。

だい きだひょうしゃかいぎ か こさいた おうぼ き なか せんこう わたし  
第9期代表者会議には、過去最多の応募があったと聞いています。その中から選考された私  
ち 26人は、それぞれが市内の全外国人市民の代表であるとの自覚を持って会議に臨みました。そ  
して、かていきょういく ぼ ごきょういく ちいきふくしとう てーま ふくしきょういくぶかい じょうほう  
家庭 教育や母語教育、地域福祉等をテーマとする福祉教育部会とまちづくりや情報  
でんたつ ちいきかつどう さんかとう てーま しゃかいせいかつぶかい わ ちょうさしんぎ  
伝達、地域活動への参加等をテーマとする社会生活部会に分かれ、調査審議しました。

おーぶんかいぎ ひがしにほんだいいんさい ぶ ぼうさい かん こうざ おこな にほんじん  
また、オープン会議では、東日本大震災を踏まえ、防災に関する講座を行うとともに、日本人  
も含めた市民の皆様から意見をいただきました。

ちょうさしんぎがい しないしきつ おこな しみんまつ どう いべんと さんか さまざま しみん  
さらに、調査審議以外にも、市内視察を行ったり、市民祭り等のイベントに参加して様々な市民  
との交流を深めたり、幅広く活動してきました。

ねん がつ がいこくじんとうろくほう はいし わたし がいこくじんしみん じゅうみんひょう さくせい  
2012年は7月に、外国人登録法が廃止され、私たちが外国人市民のほとんどに住民票が作成さ  
れました。この新しい住民登録制度と同時に改正された在留管理制度はこの会議でも関心を  
もって動向を見ています。新制度移行後の川崎市の外国人住民人口は、2012年12月末日現在、120  
こくせき ちいき にん ぜんしみん し わりあい  
の国籍・地域の29,624人、全市民に占める割合は2.05%となっています。

かわさきし だれ こころゆた く しゃかい じつげん かわさきし  
川崎市では、誰もがいきいきと心豊かに暮らせる社会を実現していくため、「川崎市  
たぶんかきょうせいしゃかいすいしんしん さくてい さまざま しさく おこな わたし がいこくじんしみん ちいきしゃかい  
多文化共生社会推進指針」を策定し、様々な施策を行っています。私たちが外国人市民も地域社会  
こうせい いちいん たぶんかきょうせい こうけん おも  
を構成する一員として多文化共生のまちづくりにさらに貢献していきたいと思ひます。

さいご にほんじん がいこくじん あんしん せいかつ とも い ちいきしゃかい けいせい  
最後になりましたが、日本人も外国人も安心して生活できる、共に生きる地域社会の形成をめざ  
して、ぜんこく さきが じょうれい がいこくじんしみんだいひょうしゃかいぎ せっち しちょうおよ しぎかいなら  
びに市民の皆様にも心から感謝を申し上げます。さらに、会議をサポートしてくださっている関係者  
みなさま あつ れい もう あ  
の皆様にも厚くお礼を申し上げます。

# 目次

|                        |   |
|------------------------|---|
| 2012年度川崎市外国人市民代表者会議の報告 | 1 |
| 目次                     | 2 |
| 川崎市外国人市民代表者会議 第9期代表者名簿 | 4 |

## I 会議の報告

|                        |    |
|------------------------|----|
| 代表者会議のスローガン            | 5  |
| <b>1</b> 会議開催概要        | 6  |
| <b>2</b> 調査審議の内容       | 8  |
| <b>【1】</b> 会議の運営       | 8  |
| <b>【2】</b> 調査審議で出された意見 | 11 |
| 1 審議したいテーマについて         | 11 |
| 2 福祉教育部会               | 13 |
| 3 社会生活部会               | 14 |
| 4 関係者の出席               | 16 |
| <b>【3】</b> オープン会議      | 17 |
| 1 趣旨・目的                | 17 |
| 2 開催概要                 | 17 |
| 3 参加者からの意見             | 18 |
| 4 オープン会議参加者アンケート       | 19 |

## II 各種活動状況

|    |                  |    |
|----|------------------|----|
| 1  | 市長、市議会への報告       | 23 |
| 2  | オープン会議の企画・運営     | 24 |
| 3  | ニューズレターの編集       | 25 |
| 4  | 多文化フェスタみぞのくちへの参加 | 27 |
| 5  | かわさき市民祭りへの参加     | 28 |
| 6  | 事前説明会            | 30 |
| 7  | 市内視察             | 30 |
| 8  | フィールドワーク等        | 31 |
| 9  | 代表者の活動状況         | 32 |
| 10 | 専門調査員の活動状況       | 33 |

## III 資料

|   |                  |    |
|---|------------------|----|
| 1 | 外国人住民人口統計        | 35 |
| 2 | 第9期代表者の応募状況と選考結果 | 38 |
| 3 | 提出資料一覧           | 40 |
| 4 | 提言の取組状況          | 42 |
| 5 | 外国人市民代表者会議のしくみ   | 89 |
| 6 | 条例・要綱・要領         | 91 |

かわさきしがいこくじんしみんだいひょうしゃかいぎ だい きだいひょうしゃめいぼ  
**川崎市外国人市民代表者会議 第9期代表者名簿**

いんちよう ふくいんちよう  
**委員長・副委員長**

| 名 前              | 国籍・地域 | 居住区 | 会議内実行委員・市の審議会委員等 |
|------------------|-------|-----|------------------|
| 委員長 王 平          | 中国    | 川崎区 | オープン会議実行委員長      |
| 副委員長 シャルマ ガジェンダー | インド   | 幸区  | オープン会議副実行委員長     |

ふくしきょういふかい  
**福祉教育部会**

(部会長の他は五十音順)

| 名 前                       | 国籍・地域   | 居住区 | 会議内実行委員・市の審議会委員等                      |
|---------------------------|---------|-----|---------------------------------------|
| 園田 泉 ペアトリス                | ブラジル    | 宮前区 | 部会長、ニュースレター                           |
| ウンチャンギリ クリストファ (~2012年6月) | タンザニア   | 麻生区 | オープン会議                                |
| エドモンド ダンカン                | オーストラリア | 幸区  | 市民祭り、かわさき市民祭り実行委員会委員、青少年問題協議会委員       |
| 生出 オリエッタ                  | チリ      | 多摩区 | 多文化フェスタみぞのくち実行委員長、多文化フェスタみぞのくち実行委員会委員 |
| 王 夕心                      | 中国      | 宮前区 | 市民祭り実行委員長、川崎市成人式企画実施委員会委員             |
| ダエン コク バオ リン              | ベトナム    | 高津区 | 多文化フェスタみぞのくち                          |
| ケオバサアト ラツアミチャン            | ラオス     | 幸区  | 多文化フェスタみぞのくち                          |
| シフケン ブランドン                | 米国      | 麻生区 | オープン会議                                |
| セナー ジョアキム (2012年7月~)      | ベナン     | 高津区 | オープン会議                                |
| 崔 想                       | 韓国      | 中原区 | 多文化フェスタみぞのくち                          |
| 仲田 シリワン                   | タイ      | 高津区 | 多文化フェスタみぞのくち                          |
| 中村 ジュディス                  | フィリピン   | 川崎区 | 市民祭り                                  |
| 朴 昌浩                      | 韓国      | 川崎区 | オープン会議                                |
| 法邑 カレン ウィルフリダ             | ケニア     | 多摩区 | 多文化フェスタみぞのくち                          |
| 楊 奕                       | 中国      | 宮前区 | ニュースレター                               |

しやかいせいかつぶかい  
**社会生活部会**

(部会長の他は五十音順)

| 名 前          | 国籍・地域 | 居住区 | 会議内実行委員・市の審議会委員等 |
|--------------|-------|-----|------------------|
| チャート デビト     | 英国    | 宮前区 | 部会長、ニュースレター      |
| 安 栄一         | 朝鮮    | 幸区  | オープン会議           |
| 呉 群          | 中国    | 麻生区 | ニュースレター          |
| ガン リョシイン     | マレーシア | 多摩区 | ニュースレター編集委員長     |
| 許 可欣         | 台湾    | 高津区 | オープン会議           |
| コロンツイ カロル    | スロバキア | 川崎区 | 多文化フェスタみぞのくち     |
| 孔 敏淑         | 韓国    | 中原区 | ニュースレター          |
| サルヴィオ ローザマリー | フィリピン | 川崎区 | 市民祭り             |
| シャヒン セルカン    | トルコ   | 宮前区 | オープン会議           |
| 柳澤 アンナ       | ロシア   | 宮前区 | 市民祭り             |

# I かい ぎ 会議ほうこくの報告

だいひょうしゃかいぎ するーがん  
\*\*\*\*\* 代表者会議のスローガン \*\*\*\*\*

がいこくじん す にほんじん す  
「外国人の住みやすいまちは、日本人も住みやすい」



がつ にち にち すなだふくしちやう やまざきしみん きよくちやう かこ  
4月22日(日) 砂田副市長と山崎市民・こども局長を囲んで

だいひょうしゃかいぎ みつ きーわーど  
\*\*\*\*\* 代表者会議の3つのキーワード \*\*\*\*\*

ようきゆう さんか  
要求から参加へ

ようきゆう  
要求するだけではなく  
せつきよくてき しせい さんか  
積極的に市政参加・  
しゃかい さんか  
社会参加をしていく。

こべつ ふへん  
個別と普遍

こべつ ちが なか  
個別の違の中から  
だれ なっとく  
誰をも納得させる  
ふへんてき さが  
普遍的なものを探す。

そうごりかい きやうせい  
相互理解と共生

がいこくじん にほんじん  
外国人も日本人も  
たが りかい つと  
お互いの理解に努め、  
きやうせい はか  
共生を図る。

1 会議開催概要

※ 時間はいずれも14:00～17:00

| 会 期     | 開催日<br>／場所                            | 議 事 概 要   | 代表者 | 傍聴者 |
|---------|---------------------------------------|---|-----|-----|
| 第1<br>回 | 第1日<br>2012年<br>4月22日<br>国際交流<br>センター | <ul style="list-style-type: none"> <li>・委嘱状交付</li> <li>・代表者自己紹介</li> <li>・正副委員長の選出</li> <li>・年間日程の確認</li> </ul>   | 24人 | 9人  |
|         | 第2日<br>2012年<br>5月27日<br>国際交流<br>センター | <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査審議について(会議の運営、審議したいテーマ、部会の設置)</li> <li>・臨時会の開催について</li> <li>・行事への参加について(かわさき市民祭り、多文化フェスタみぞのくち)</li> <li>・実行委員会等について(オープン会議、ニューズレター、市民祭り、多文化フェスタみぞのくち)</li> <li>・視察について</li> <li>・市の審議会等委員について</li> </ul> | 23人 | 3人  |
| 第2<br>回 | 第1日<br>2012年<br>7月8日<br>国際交流<br>センター  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・代表者の補充について</li> <li>・参加する部会について</li> <li>・部会審議(部会長の選出、部会の名称、審議方法)</li> <li>・実行委員会等報告</li> </ul>   | 21人 | 5人  |
|         | 第2日<br>2012年<br>9月9日<br>国際交流<br>センター  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新代表者委嘱状交付</li> <li>・視察について</li> <li>・福祉教育部会:過去の提言、審議順</li> <li>・社会生活部会:「出入国管理」、「窓口対応・相談」「地域活動への参加」</li> <li>・実行委員会等報告 (オープン会議、ニューズレター、市民祭り、多文化フェスタみぞのくち)</li> </ul>                                       | 22人 | 5人  |



| かい き 期      |                             | かいさい び<br>開催日<br>／場所  | ぎ じ だい よう<br>議 事 概 要   | だいひょうしゃ<br>代表者              | ぼうちょうしゃ<br>傍聴者 |
|-------------|-----------------------------|---|--|-----------------------------|----------------|
| 第<br>3<br>回 | だい にち<br>第1日<br>つうきん<br>通算⑤ | ねん<br>2012年<br>がつじゆよつか<br>10月14日<br>こくさいこうりゆう<br>国際交流<br>せんたー<br>センター | <ul style="list-style-type: none"> <li>ふくしきょういくぶかい かていきょういく<br/>・福祉教育部会:「家庭教育」</li> <li>しゃかいせいかつぶかい まどぐちたいおう そうだんぎょうむ ちいまかつどう さんか<br/>・社会生活部会:「窓口対応・相談業務」、「地域活動への参加」</li> <li>じっこういいんかいとうほうこく おーぶんかいぎ しみんまつ<br/>・実行委員会等報告(オープン会議、市民祭り、<br/>たぶんかふえすた<br/>多文化フェスタみぞのくち)</li> </ul>   | にん<br>24人                   | にん<br>6人       |
|             | だい にち<br>第2日<br>つうきん<br>通算⑥ | ねん<br>2012年<br>がつ にち<br>11月18日<br>こくさいこうりゆう<br>国際交流<br>せんたー<br>センター   | <ul style="list-style-type: none"> <li>かいぎ<br/>・オープン会議について</li> <li>ふくしきょういくぶかい かていきょういく かんけいしゃ せつめい しつぎおとう<br/>・福祉教育部会:「家庭教育」(関係者による説明と質疑応答)</li> <li>しゃかいせいかつぶかい まどぐちたいおう そうだんぎょうむ<br/>・社会生活部会:「窓口対応・相談業務」、「まちづくり」</li> <li>じっこういいんかいとうほうこく にゅーずれたー しみんまつ<br/>・実行委員会等報告(ニューズレター、市民祭り、<br/>たぶんかふえすた<br/>多文化フェスタみぞのくち)</li> </ul>  | にん<br>21人                   | にん<br>9人       |
|             | 臨時<br>かい<br>会               | ねん<br>2012年<br>がつこのか<br>12月9日<br>さんぎしんこう<br>産業振興<br>かいぐん<br>会館        | <ul style="list-style-type: none"> <li>おーぶんかいぎ<br/>・オープン会議</li> <li>だい ぶ ぼうさい だまこうぎ<br/>第1部 ぼうさい出前講座</li> <li>だい ぶ ぶんかかい<br/>第2部 分科会</li> <li>しゃかいせいかつぶんかかい<br/>社会生活分科会</li> <li>きょういくぶんかぶんかかい<br/>教育文化分科会</li> </ul>  | さんかしゃ<br>参加者<br>やく<br>約110人 |                |
| 第<br>4<br>回 | だい にち<br>第1日<br>つうきん<br>通算⑧ | ねん<br>2013年<br>がつはつか<br>1月20日<br>こくさいこうりゆう<br>国際交流<br>せんたー<br>センター    | <ul style="list-style-type: none"> <li>ねんどおーぶんかいぎ<br/>・2012年度オープン会議について</li> <li>ねんど ねんじ ほうこく<br/>・2012年度の年次報告について</li> <li>ていげん とりくみじょうきょう<br/>・提言の取組状況について</li> <li>ねんど かいぎ についでい<br/>・2013年度の会議日程について</li> <li>ふくしきょういくぶかい かていきょういく ぼごきょういく<br/>・福祉教育部会:「家庭教育」、「母語教育」</li> <li>しゃかいせいかつぶかい じょうほうでんたつ<br/>・社会生活部会:「まちづくり」、「情報伝達」</li> <li>にゅーずれたーへんしゅういいんかいほうこく<br/>・ニューズレター編集委員会報告</li> </ul> | にん<br>23人                   | にん<br>7人       |
|             | だい にち<br>第2日<br>つうきん<br>通算⑨ | ねん<br>2013年<br>がつ にち<br>2月17日<br>こくさいこうりゆう<br>国際交流<br>せんたー<br>センター    | <ul style="list-style-type: none"> <li>ねんど かいぎ についでい<br/>・2013年度の会議日程について</li> <li>ねんど ねんじ ほうこく<br/>・2012年度の年次報告について</li> <li>ふくしきょういくぶかい ぼごきょういく いぶんかこうりゆう<br/>・福祉教育部会:「母語教育」、「異文化交流」</li> <li>しゃかいせいかつぶかい きぎょう ゆうち しゃかいこうけん じょうほうでんたつ<br/>・社会生活部会:「企業の誘致と社会貢献」、「情報伝達」</li> </ul>   | にん<br>21人                   | にん<br>4人       |

## 2 調査審議の内容

### 【1】会議の運営

#### 1 代表者の委嘱、正副委員長の選出

2012年4月から第9期川崎市外国人市民代表者会議（以下「代表者会議」という。）が始まりました。第1回第1日（4月22日）の会議では、砂田慎治副市長から各代表者に委嘱状が交付され、代表者が互いに自己紹介した後、条例と運営要綱で定められた正副委員長の役割を確認し、選出方法について討議・決定しました。無記名投票の結果、委員長は王平、副委員長はシャルマ ガジェンダーに決まりました。

#### 2 調査審議の進め方（審議テーマの決定と部会の設置）

第1回第2日（5月27日）の会議では、第9期で調査審議したいテーマを出し合いました。また、調査審議の方法について検討した結果、2つの部会を作ることにし、調査審議したいテーマを2つに分けました（11～13頁参照）。  
続いて、第2回第1日（7月8日）の会議で、委員長、副委員長を除く代表者が、2つの部会のどちらに所属するか自分の希望により決め、それぞれの部会で、部会の名称と部長、審議方法を決めました。

##### <福祉教育部会>

部会長：園田 泉 ベアトリス

審議方法：審議テーマを、「時間のかかるテーマ」と「時間のかからないテーマ」に分け、扱うテーマは次のとおりとし、「時間のかかるテーマ」から審議することとしました。

| 時間のかかるテーマ       | 時間のかからないテーマ     |
|-----------------|-----------------|
| 家庭教育、母語教育、異文化交流 | 保護者支援、いじめ、高齢者福祉 |
|                 | 乳幼児の子育て、医療      |

しゃかいせいかつぶかい  
 <社会生活部会>

ぶかいちやう ちゃーと でびと  
 部会長：チャート デビト

しんぎほうほう しんぎてーま じかん てーま じかん てーま わ  
 審議方法：審議テーマを、「時間のかからないテーマ」と「時間のかかるテーマ」に分  
 け、さらに「時間のかからないテーマ」の中で重要なテーマを決め、「時間  
 のかからないテーマ」から審議することにしました。

|                                 | じかん のかかるとーま<br>時間のかかるテーマ  | じかん のかかるとーま<br>時間のかからないテーマ  |
|---------------------------------|---|---|
| じゆうよう<br>とても重要な<br>てーま<br>テーマ   | まちづくり (きぎょうゆうち しすてむ)<br>企業誘致のシステム<br>しゅうしょくしえん<br>就職支援<br>ていげんとく ひょうか<br>提言取り組みの評価<br>じょうほうでんたつ<br>情報伝達 | おや よよ<br>親の呼び寄せ<br>ちいきかどう さんか<br>地域活動への参加<br>まどぐちたいおう そうだん<br>窓口対応・相談 |
| すこ じゆうよう<br>少し重要な<br>てーま<br>テーマ |   | ねんきん<br>年金<br>じゅうたく<br>住宅   |

※ あたら にゆうかんせいど さいがい じょうほうでんたつ あつか  
 ※ 新しい入管制度、災害 ⇒ 情報伝達として扱う。



かいぎ ようす  
 会議の様子

### 3 正副委員長部会長会議の開催

代表者会議の円滑な運営を図るため、事前に正副委員長部会長会議を開催し、次回会議の進行、部会の審議内容・資料等について確認しました。

#### <開催経過と主な議題>

| かい<br>回 | かいさいび<br>開催日  | ぎ<br>議<br>題  |
|---------|---|--|
| 1       | ねん<br>2012年<br>がつ にち ど<br>5月12日(土)                    | だい かいだい にちかいぎしだい ちようさしんぎ すす かた かくしゆぎようじ さんか<br>第1回第2日会議次第、調査審議の進め方、各種行事への参加、<br>しななしさつ<br>市内視察について                       |
| 2       | がつ にち ど<br>6月16日(土)                                   | だい かいだい にちかいぎしだい だいひようしゃ ほじゆう<br>第2回第1日会議次第、代表者の補充について、<br>ぶかいしんぎ すす かた かくじつこういんかい<br>部会審議の進め方について、各実行委員会について            |
| 3       | がつ にち ど<br>8月25日(土)                                   | だい かいだい にちかいぎしだい ぶかいしんぎ すす かた<br>第2回第2日会議次第、部会審議の進め方について<br>かくじつこういんかい<br>各実行委員会について                                     |
| 4       | がつ にち きん<br>9月28日(金)<br>にち ど<br>29日(土)                | だい かいだい にちかいぎしだい ぶかいしんぎ すす かた<br>第3回第1日会議次第、部会審議の進め方について<br>かくじつこういんかい<br>各実行委員会について                                     |
| 5       | がつふつか きん<br>11月2日(金)<br>いつか げつ<br>5日(月)               | だい かいだい にちかいぎしだい おーぶんかいぎ<br>第3回第2日会議次第、オープン会議について、<br>ぶかいしんぎ すす かた かくじつこういんかい<br>部会審議の進め方について、各実行委員会について                 |
| 6       | がつふつか にち<br>12月2日(日)                                  | おーぶんかいぎ<br>オープン会議について  |
| 7       | ねん<br>2013年<br>がつなの か げつ<br>1月7日(月)<br>にち ど<br>12日(土) | だい かいだい にちかいぎしだい ぶかいしんぎ すす かた<br>第4回第1日会議次第、部会審議の進め方について<br>ねんじほうこくしよ こうせい ていげん と く じようきよう<br>年次報告書の構成について、提言の取り組み状況について |
| 8       | がつみつか にち<br>2月3日(日)                                   | だい かいだい にちかいぎ すす かた ねんじほうこくしよ ないよう<br>第4回第2日会議の進め方について、年次報告書の内容について  |

### 4 市内視察の実施

会議での調査審議だけでなく、代表者自身が地域の実情を知るために、8月に市内視察を実施し、ふれあい館、市民ミュージアム、中原図書館、中原市民館、市民活動センターを視察しました(30、31頁参照)。



市民ミュージアムにて

## 【2】 調査審議で出された意見

### 1 審議したいテーマについて

第1回第2日(5月27日)の会議では、今後会議で話し合いたいテーマについて、代表者各々の意見を出し合いました。また、調査審議の方法について検討した結果、2つの部会を作ることにし、テーマを2つに分けました

#### (1) 福祉教育分野

| テーマ     | 発言内容  |
|---------|---|
| 保護者支援   | <ul style="list-style-type: none"> <li>学校からのお知らせが読めない、分からないというようなことにサポートしたい。</li> <li>幼稚園や学校からの手紙が多く、難しい日本語ばかり。</li> <li>悩みがある保護者の相談できる環境について。</li> </ul>               |
| 子育て     | <ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援がしっかりしていないと、親が働くことも難しい。</li> </ul>  |
| いじめ     | <ul style="list-style-type: none"> <li>いじめをどのようにして減らしていくか。</li> </ul>   |
| 乳幼児の子育て | <ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園の探し方、入園の手続きが分からない。</li> <li>日本人保護者のコミュニティ、ネットワークに参加できるようなシステムについて。</li> <li>保育園、幼稚園に入る前の予防接種や食事について。また保護者の相談先について。</li> </ul> |
| 母語教育    | <ul style="list-style-type: none"> <li>過去に提言が出てすでに達成したとなっているが、その後取組がなくなっている。現状を話し合いたい。</li> </ul>   |
| 保育園     | <ul style="list-style-type: none"> <li>両親が外国人の子どもは、保育園に入ることが難しい。</li> </ul>   |
| 家庭教育    | <ul style="list-style-type: none"> <li>家庭でうまく生活できることで、社会に出てうまく行くのではないか。</li> </ul>  |
| 医療      | <ul style="list-style-type: none"> <li>医療について話したい。</li> </ul>   |
| 地域福祉    | <ul style="list-style-type: none"> <li>震災のときなど、自分たち地域住民が真っ先に動かなければいけない。</li> </ul>  |
| 高齢者福祉   | <ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者福祉について話したい。</li> </ul>  |
| 異文化交流   | <ul style="list-style-type: none"> <li>就職、学校、文化面などにおいて、相互理解を図るための異文化交流活動や地域活動について</li> </ul>  |

しゃかいせいかつぶんや  
(2) 社会生活分野

| てーま<br>テーマ                                    | はつげんないよう<br>発言内容  |
|---|---|
| あたら<br>新しい入国<br>かんり<br>管理（在留管<br>り<br>理）制度    | <ul style="list-style-type: none"> <li>外国人登録証明書には項目が英語で書いてあったが、住民票ではなくなってしまう。</li> <li>特別永住者証明書の携帯義務はないが、提示義務があり、それができない場合には刑事罰がある。</li> <li>住民票の住所変更は引っ越し前と新しいところと両方に届けを出さないと罰則になる。日本人は行政罰だが、外国人は刑事罰。</li> </ul> |
| おや<br>親の呼び寄せ                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>親を日本に呼ぶときに、旅行のビザではなく、家族として認めてほしい。</li> </ul>   |
| まちづくり   | <ul style="list-style-type: none"> <li>市と外資系の会社による、もっと住みやすいまちづくりをするビジネスモデル。</li> </ul>  |
| がいこくじん<br>外国人の地域<br>かつどう<br>活動への参加            | <ul style="list-style-type: none"> <li>どのようにすれば、外国人市民が市内の活動に参加できるようになるか。</li> </ul>   |
| ねんきん<br>年金                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>年金について話したい。</li> </ul>   |
| じゅうたく<br>住宅                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>日本に来たばかりで、外国人だけの世帯だと、なかなか家が借りられない。</li> </ul>  |
| しゅうしょくしえん<br>就職支援                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>専門職の外国人など仕事を探している外国人のために何ができるか。</li> <li>外国人もいい仕事に就けるようにするにはどうしたらよいか。</li> </ul>   |
| そうだんまどぐち<br>相談窓口                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>専門的な相談もできるようにしてほしい。</li> </ul>   |
| まどぐちたいおう<br>窓口対応                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>区役所の窓口について</li> </ul>  |
| だいひょうしゃかいぎ<br>代表者会議の<br>ホームページ                | <ul style="list-style-type: none"> <li>会議について、もっと発信できるページにしたい。</li> </ul>   |
| ていげんとく<br>提言取り組みの<br>ひょうか<br>評価               | <ul style="list-style-type: none"> <li>行政が自己評価しているが、代表者会議で評価できるような仕組みについて。</li> </ul>   |
| うえぶさいと<br>ウェブサイトか<br>らがいこくじん<br>外国人の意見<br>をきく | <ul style="list-style-type: none"> <li>インターネットを使って、外国人から意見をもらう。</li> </ul>  |
| じょうほう<br>情報の伝達                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>行政から外国人市民へどのように情報を届けたらよいか。ほとんどの問題に係わること。</li> <li>情報が足りない。</li> <li>情報はあがるが届かないので、どのような方法で提供するか。</li> </ul>  |
| さいがいじょうほう<br>災害情報                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>外国人により多く情報が伝わるように。</li> </ul>  |

|                  |   |
|------------------|---|
| さいがいたいさく<br>災害対策 | がいこくじん      たいおう      しすてむ<br>・外国人もすばやく対応できるようなシステムについて。<br>じしん      そな      じょうほう      しゅうしゅう      しんさいじ      じょうほう      ほっしん      なが<br>・地震の備えと情報の収集、震災時の情報の発信と流れについてで<br>きればマニュアルを作っしてほしい。<br>がいこくご      じょうほう      ほっしん      しすてむ      たいさく<br>・外国語で情報を発信できるようなシステムなどの対策について。 |
|------------------|---|

## 2 福祉教育部会

### (1) 家庭教育について

- ① 家庭教育は大人にも当てはまる。日本で暮らしやすくするため、大人も子どもも必要。
- ② 日本の教育のシステムを理解して、保護者の家庭教育をサポートする。
- ③ 日本語は分かるが、制度を知らない。経験者の相談会があるとよい。
- ④ 子どもが自分の国の文化などを理解しにくい。特に、里帰りのときに感じる。
- ⑤ 子どもの成長に合わせて、困ることも変わる。大人の考えと子どもの考えが違っていて困る。
- ⑥ 子どもは今二重国籍。将来どちらにしようか悩む。
- ⑦ たくさんの制度があるのをどう活用するか、知らせるか。
- ⑧ 子育て中の外国人のネットワークを増やす。
- ⑨ 教育サポート→世界の文化を学ぶ。  
 地域サポート→日本語教室などで、日本語の勉強だけでなく、情報交換や交流をしたい。
- ⑩ 解決方法：4つのキーワード  
 ネットワークを広げる／情報を広く伝える／外国人のボランティアを増やし、お互いにサポートできるようにする／親子・家族のコミュニケーションをどのように作っていくか。
- ⑪ キッズ国際フェスティバルを開いて、文化や家庭の問題、教育の問題を話しあったり、紹介してはどうか。
- ⑫ 小学校や中学校入学時に、外国人向けに教育についての説明会を開く。
- ⑬ 部活動はいつから始まるか。→教科の自主学習から始まった生徒の自主性に基

いた活動。

- ⑭ 子どもがやりたいというなら応援するしかない。
- ⑮ 子どもと家庭との時間が少ないことが問題。

## (2) 母語教育について

- ① 資格をとることを重視されがちだが、  
日常の言葉を教えられるとよい。
- ② 日本人と一緒に学べるとよい。
- ③ 自主グループの自立支援の仕組みについて知りたい。  
福祉教育部会
- ④ アイデンティティと母国の言葉や文化をどう考えるか。  
親の思い・希望と日本で育つ子どもの思い・希望は違うこともある。
- ⑤ 教室や学校も大事だが、まずは親が責任を持って教えることが大事。



## (3) 異文化交流について

- ① ホームページなどで、異文化交流のイベントが一覧で見られるとよい。
- ② 外国人と日本人とで組織を作り、経済・社会貢献できるとよい。

## 3 社会生活部会

### (1) 出入国管理（親の呼び寄せ）について

- ① 「特定活動」が認められる「身寄りがいない」の「身寄り」の範囲が曖昧である。
- ② このテーマについての提案は2つ、  
(i) 「家族滞在」に親を含める。(ii) 「特定活動」の基準を整える。(明確にする。)
- ③ 日本や川崎市にもメリットがあるということをアピールしたい。
- ④ 重要なテーマだが、提言は市長に行うので、より市民・地域社会に関するテーマがよい。

### (2) 窓口対応・相談業務について

- ① 証明書（住民票）を英語で発行してほしい。



- ② <sup>とどけで</sup>届出が遅れると<sup>けいじばつ</sup>刑事罰になることがあまり<sup>こうほう</sup>広報されていないし、そもそも<sup>にほんじん</sup>日本人と<sup>おな</sup>同じ<sup>ぎょうせいばつ</sup>行政罰でよいのではないか。
- ③ <sup>まどぐち</sup>窓口<sup>がいこくじん</sup>に外国人の<sup>たいおう</sup>対応に<sup>な</sup>慣れた<sup>たんとうしゃ</sup>担当者がいるとよい。
- ④ <sup>まどぐち</sup>窓口<sup>き</sup>に来た人で<sup>ひと</sup>仕事を探している<sup>さが</sup>人を<sup>ひと</sup>登録する<sup>とうろく</sup>システムがあるとよい。
- ⑤ <sup>てつづ</sup>手続き<sup>まどぐち</sup>窓口をできるだけ<sup>ひと</sup>1つにしてほしい。
- ⑥ <sup>げんごぜんぶ</sup>6言語<sup>しりょう</sup>全部の資料は紙が<sup>かみ</sup>もったいないので、<sup>くやくしょ</sup>区役所で<sup>がいこくじん</sup>外国人それぞれ<sup>こじん</sup>(個人)の<sup>わか</sup>分かる<sup>げんご</sup>言語を<sup>とうろく</sup>登録できるとよい。
- ⑦ <sup>がいこくじん</sup>外国人も<sup>じゅうみんとうろく</sup>住民登録になり、<sup>まどぐち</sup>窓口が<sup>わか</sup>分かりづらい。
- ⑧ <sup>きんきゅうたいおう</sup>緊急<sup>まどぐち</sup>対応窓口<sup>ひつよう</sup>が必要。
- ⑨ <sup>きんきゅう</sup>緊急のときは、<sup>ふだん</sup>普段より<sup>ぱにっく</sup>パニックになるので<sup>さぽーと</sup>サポート<sup>ひつよう</sup>が必要。

### (3) <sup>ちいきかつどう</sup>地域活動<sup>ちょうないかいとう</sup>(町内会等について)

- ① <sup>ちょうないかい</sup>町内会の<sup>やくいん</sup>役員は、<sup>ぼらんていあ</sup>ボランティアでやらなくては<sup>じかん</sup>いけないが、<sup>時間</sup>時間がない。
- ② <sup>ちょうないかい</sup>町内会の<sup>かつどう</sup>活動は、<sup>みんな</sup>みんなで、<sup>まち</sup>まちを<sup>つく</sup>作っていくということ。<sup>たにん</sup>他人が<sup>はい</sup>入らないから<sup>はい</sup>入らないということではよくない。
- ③ <sup>にほん</sup>日本は<sup>あんぜん</sup>安全、これから<sup>あんぜん</sup>安全に<sup>く</sup>暮らしていくため<sup>ちようないかいかつどう</sup>には、<sup>さんか</sup>町内会活動に<sup>たいせつ</sup>参加していくことは<sup>たいせつ</sup>大切。
- ④ <sup>かにゆう</sup>加入している<sup>ひと</sup>人と<sup>かにゆう</sup>加入していない<sup>ひと</sup>人が<sup>で</sup>出てきている<sup>もんだい</sup>のが<sup>か</sup>問題。<sup>かにゆう</sup>加入する<sup>めりつと</sup>メリットが<sup>ふ</sup>増えればよい。
- ⑤ <sup>かいらんばん</sup>回覧板が<sup>ぜんぶ</sup>全部<sup>にほんご</sup>日本語で<sup>わか</sup>分からない。<sup>たげんご</sup>多言語を<sup>もと</sup>求める<sup>むず</sup>のは<sup>むず</sup>難しいが、<sup>わか</sup>分かり<sup>にほんご</sup>やすい日本語にしてほしい。
- ⑥ <sup>かいらんばん</sup>回覧板に、「<sup>こ</sup>子ども<sup>も</sup>を持つ<sup>がいこくじん</sup>外国人がいたら、<sup>ないよう</sup>この内容<sup>をつた</sup>を伝えてください」と<sup>か</sup>書いてあり、<sup>ないよう</sup>内容を<sup>きんじょ</sup>近所の<sup>ひと</sup>人が<sup>おし</sup>教えてくれたことがあった。
- ⑦ <sup>ちょうないかい</sup>町内会の<sup>かつどう</sup>活動は<sup>じゅうよう</sup>とても<sup>じゅうよう</sup>重要なもの。<sup>にほんじん</sup>日本人も<sup>がいこくじん</sup>外国人も<sup>かにゆう</sup>加入するとよい。



社会生活部会

### (4) <sup>まちづくり</sup>まちづくり<sup>きぎょうゆうち</sup>(企業誘致のシステム)

- ① <sup>きぎょう</sup>企業と<sup>しやくしよ</sup>市役所、<sup>しみん</sup>市民が<sup>いっしょ</sup>一緒に<sup>こうけん</sup>まちづくりに<sup>こうけん</sup>貢献できないか。

- ② 市役所が、税の優遇など企業をサポートして、インフラを整備したり、外資系企業の社員や子どもたちをサポートできるとよい。
- ③ 障害者を雇用すると何かの優遇があるように、多文化に貢献していることで優遇制度ができないか。
- ④ 外国の企業の誘致し、ファンドを作って学校やインフラ整備のサポートをする。また、母語教育などのサポートも考えられる。
- ⑤ 重要な問題だが、この会議から市に、何かを提案することは難しい。

#### (5) 情報伝達について

- ① 市のホームページに、質問コーナーができればよい。
- ② 情報がどこに集められているかをどうやって知らせるか。
- ③ 受け身だけではどうしようもない。情報を発信する側と受け取る側、両方からの努力が必要。
- ④ 消極的な人にも、情報を届ける必要がある。
- ⑤ インターネットテクノロジーで解決できるのではないかな。
- ⑥ 住民票のない人は、情報を得られないのではないかな。
- ⑦ インターネットの使えない外国人のことも考えなくてはいけない。
- ⑧ 外国人の多くはFacebookを使っているので、活用するとよい。
- ⑨ 行政サービスコーナー、コンビニ、町内掲示板を利用できるとよい。
- ⑩ 回覧板に、情報を掲載し、「周りの外国人に教えてあげてください」と一言付けられるとよい。
- ⑪ 情報がどこにあるかのポスターを多言語で作り、郵便局などに貼るとよい。
- ⑫ どんな情報をどこでほしいのかニーズ調査をするとよい。
- ⑬ 「伝達」だけでなく、「情報」自体があるかどうかの問題もある。

## 4 関係者の出席

福祉教育部会 第3回第2日 (2012年11月18日)

川崎市教育委員会事務局生涯学習部生涯学習推進課 片山 美緒 振興係長

### 【3】オープン会議

日 時 2012年12月9日（日） 14:00～17:00

場 所 川崎市産業振興会館

参加者 約110人

第1部 「ぼうさい出前講座」 ～災害に対する備えと知識～

第2部 分科会 （1）福祉教育

（2）社会生活

全体会

#### 1 趣旨・目的

- （1）第9期代表者会議で審議している内容を中心に、専門家の話や代表者以外の人の意見を聞き、審議の参考にする。
- （2）外国人をめぐる状況について、広く現状を把握する機会とする。
- （3）代表者会議のPR、外国人市民同士及び外国人市民と日本人市民の交流と出会いの場とする。

#### 2 開催概要

- （1）第1部 開会、主催者及び川崎市あいさつ、代表者会議の説明、代表者の自己紹介、  
「ぼうさい出前講座」講師 川崎市総務局危機管理室 角田 真康 係長
- （2）第2部 分科会 部会の審議内容の報告、意見聴取  
福祉教育分科会（家庭教育、母語教育、異文化交流）  
コメンテーター 慶應義塾大学経済学部教授 柏崎 千佳子 氏  
社会生活分科会（情報伝達、地域活動への参加）  
コメンテーター 駒澤大学法学部教授 中野 裕二 氏  
全体会 分科会発表、意見聴取
- （3）交流パーティー  
会議終了後、会議に参加した代表者と市民が自由に懇談するための時間を設けました。参加者同士とても有意義な交流ができました。

### 3 参加者からの意見（分科会・全体会での発言要旨）

#### (1) 福祉教育分科会

- ① 外国につながるのある子どもたちの教育問題について伝える機会として、多文化フェスタとともに多文化コンサートを開催してきたが、行政のサポートがなくなり開催できなくなった。代表者会議でもこのような取り組みを続けるためのアイデアを一緒に考えてほしい。
- ② 川崎市で作っている外国人旅行者向けのビデオの言語名が間違っている。
- ③ 家庭教育で話合われている親子関係の問題は日本人にも共通の問題なので、日本人の保護者と外国人の保護者の交流をぜひやってほしい。
- ④ 母語教育については、実際には母語を十分身につけるのが難しい場合もある。アイデンティティなど様々な面から母語教育について考えてほしい。（柏崎教授）
- ⑤ 異文化交流については、提言にしていく場合には、どのような場をつくるか、が大切になってくる。今後どのような場、どのような仕組みが必要かについて話し合ってください。（柏崎教授）

#### (2) 社会生活分科会

- ① それぞれの区の市民館で、日本人と外国人の住民が情報交換を行ったり、一緒に研究したりして、ひとつの方向性を作っていくプロジェクトを行ってはどうか。
- ② 回覧板について、町内会や町内会連合会の中で、外国語ができる人がいれば、要約をつけてまわすということを提案してはどうか。
- ③ 災害時要支援者に関連して、町内会長への言語的な支援を考える必要がある。（中野教授）
- ④ 市内の高校や大学で代表者会議の説明、代表者会議の出前講座みたいなものをしてはどうか。
- ⑤ 外国語の情報コーナーは、区役所、市民館、図書館にあるが、これらは、近くにあることが多い。区内に、例えば、5～10kmの円内に1か所とか、どこに住んでも情報にアクセスできるとよい。（中野教授）

#### (3) 全体会

- ① 外国籍の子どもで言葉の問題から高校受験で悩んでいる子どもが多い。県立高校で実施している外国人特別枠を川崎市立高校でも実施できるように提案してほしい。

- ② 外国人はお客さんのような立場なので、あれこれ要求するのは間違っている。
- ③ 日本人が外国の文化を知らないために、外国から来た人の立場が理解できないと  
いうことがある。日本人に外国の文化をもっと理解してもらうような活動が必要。
- ④ 多文化共生の是非について考えるような話し合いが必要ではないか。
- ⑤ 多文化共生は、外国人だけでなく、障害を持っている方や高齢者、地方の文化も  
含め違う文化を持っている人々がお互いの違いを認め合い大事にし合うのが  
多文化共生ではないか。
- ⑥ 国際交流の中で、特定の国との交流の催しが多いのではないか。
- ⑦ 代表者会議の意義は、要求ではなく、市の施策を知り、県や国の権限について学  
んでいく、参加をしていく貴重な機会だと思う。(中野教授)
- ⑧ オープン会議が代表者だけでなく、様々な生活の違いを持つ人々の意見を聞く場  
になるとよい。代表者も会議以外のところで様々な声を聞き、よりよい提言につ  
なげてほしい。(柏崎教授)

#### 4 オープン会議参加者アンケート

##### (1) 「ぼうさい出前講座」について

- ① 情報を渡されるだけでなく講座のように共有する場が大切だと思った。
- ② 大変役にたった。家具を固定し避難に備える品物を考えた。
- ③ ていねいなプレゼンで、日本人にとっても、やさしい言葉だった。
- ④ 外国人に関する情報を入れてほしかった。
- ⑤ 6言語対応の「そなえる。かわさき」が年度内にできることがよかった。

##### (2) 分科会について

- ① 参加者の方から有意義なアドバイスをいただいた。
- ② もっとたくさんの方に参加してほしい。
- ③ 参加者人数での時間は足りたが、参加者人数増を期待すれば少し時間が必要だ。
- ④ 市に向かうだけでなく、日本人との連携も含めた問題解決策を考えるとよい。
- ⑤ テーマごとの具体的な課題を解決していくためのネットワーク創りと市内の団体  
やグループへの働きかけが大事だ。

##### (3) オープン会議全体について

- ① 交流パーティーは楽しかった。
- ② 外国人市民代表者会議を川崎市民に広報し、多文化共生の社会を推進することが

たいせつ  
大切。

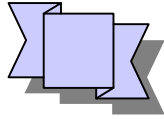
- ③ たくさんの<sup>かた</sup>方と<sup>であ</sup>出会い、いろいろな<sup>いけん</sup>意見を聞き、よい<sup>じょうほう</sup>情報を<sup>え</sup>得た。
- ④ 時間が<sup>じかん</sup>足りない<sup>た</sup>部分も<sup>ぶぶん</sup>あったが、<sup>こころ</sup>試みて<sup>さ</sup>いることが<sup>さいだいげん</sup>最大限に<sup>じつげん</sup>実現できていたのでは<sup>おも</sup>ないか<sup>おも</sup>と思う。
- ⑤ 意見を<sup>いけん</sup>いただいた<sup>かん</sup>もの<sup>かん</sup>に関しては、<sup>だいひょうしゃかいぎ</sup>代表者会議で<sup>さいどきょうぎ</sup>再度協議しなければ<sup>おも</sup>ならないと<sup>おも</sup>思う。
- ⑥ これからも<sup>たぶん</sup>よりよい<sup>かきょうせい</sup>多文化共生<sup>む</sup>に向けて<sup>ゆういぎ</sup>有意義な<sup>はな</sup>話し合<sup>あ</sup>いを<sup>きたい</sup>期待している。
- ⑦ <sup>だいひょうしゃかいぎ</sup>代表者会議で<sup>はな</sup>話し合<sup>あ</sup>われていることなどを<sup>つた</sup>伝えて、<sup>がいぶ</sup>外部からの<sup>ていあん</sup>提案<sup>う</sup>を受けるよう<sup>お</sup>にして<sup>お</sup>ほしい。
- ⑧ たくさんの<sup>さんかしゃ</sup>参加者<sup>かつぱつ</sup>と<sup>ぎろん</sup>活発な<sup>ぎろん</sup>議論<sup>ぎろん</sup>ができれば<sup>お</sup>よ<sup>お</sup>かった。
- ⑨ <sup>かいじょう</sup>会場<sup>か</sup>を変えれば<sup>さんかしゃ</sup>参加者が<sup>げきげん</sup>激減するので、<sup>おな</sup>同じ<sup>ばしょ</sup>場所での<sup>かいさい</sup>開催<sup>のぞ</sup>を<sup>お</sup>望む。
- ⑩ <sup>さんかしゃ</sup>参加者の<sup>いけん</sup>意見を<sup>き</sup>聞く<sup>ぶぶん</sup>部分を<sup>なが</sup>より<sup>なが</sup>長く<sup>お</sup>する<sup>お</sup>べき<sup>お</sup>だと<sup>おも</sup>思う。
- ⑪ <sup>さんかしゃ</sup>参加者が<sup>かつぱつ</sup>活発に<sup>はつげん</sup>発言する<sup>かんげき</sup>には、<sup>かんげき</sup>感激<sup>かんげき</sup>した。
- ⑫ <sup>ぼうさい</sup>防災<sup>はな</sup>の話<sup>し</sup>は<sup>しみんかん</sup>市民館<sup>に</sup>の<sup>ほんご</sup>日本語<sup>が</sup>学級<sup>が</sup>、<sup>ほけんじよ</sup>保健所<sup>の</sup>の<sup>がいこくじん</sup>外国人<sup>ぼ</sup>母子<sup>し</sup>保健<sup>つど</sup>の<sup>おこ</sup>集い<sup>とう</sup>等で<sup>おこ</sup>行な<sup>お</sup>えば<sup>お</sup>よい。
- ⑬ <sup>かわさきし</sup>川崎市の<sup>し</sup>システム<sup>し</sup>について、<sup>にほんじん</sup>日本人<sup>し</sup>市民<sup>がいこくじん</sup>外国人<sup>し</sup>市民<sup>かんが</sup>の<sup>し</sup>考<sup>かいぎ</sup>え<sup>かいぎ</sup>を知る<sup>かいぎ</sup>よい<sup>かいぎ</sup>会議<sup>かいぎ</sup>だった。

(4) その他～ 多文化共生のまちをつくるために～

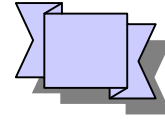
- ① <sup>にほんじん</sup>日本人<sup>し</sup>市民<sup>がいこくじん</sup>外国人<sup>し</sup>市民<sup>こうりゅう</sup>の<sup>きかい</sup>交流<sup>ふ</sup>の<sup>はな</sup>機会<sup>はな</sup>を増<sup>ふ</sup>やし、<sup>はな</sup>話し<sup>はな</sup>をする。
- ② <sup>しえん</sup>支援<sup>に</sup>をしたい<sup>にほんじん</sup>日本人<sup>しえん</sup>と<sup>のぞ</sup>支援<sup>のぞ</sup>を<sup>がいこくじん</sup>望んで<sup>たが</sup>いる<sup>しょうかい</sup>外国人<sup>せいど</sup>を<sup>ひつよう</sup>互いに<sup>せいど</sup>紹介<sup>ひつよう</sup>する<sup>ひつよう</sup>制度<sup>ひつよう</sup>が<sup>ひつよう</sup>必要<sup>ひつよう</sup>。
- ③ <sup>ひと</sup>人の<sup>いしき</sup>意識<sup>か</sup>が<sup>じかん</sup>変わ<sup>れ</sup>ら<sup>れ</sup>ないと<sup>れきして</sup>時間<sup>は</sup>がか<sup>は</sup>かる。<sup>がくしゅう</sup>歴史的<sup>はあく</sup>背景<sup>ひつよう</sup>の<sup>ひつよう</sup>学習<sup>ひつよう</sup>と<sup>ひつよう</sup>把握<sup>ひつよう</sup>が<sup>ひつよう</sup>必要<sup>ひつよう</sup>。
- ④ <sup>せっきよくてき</sup>積極的に<sup>しゃかい</sup>社会<sup>か</sup>参加<sup>か</sup>し、<sup>はばひろ</sup>幅<sup>こうりゅう</sup>広く<sup>こうりゅう</sup>交流<sup>じぶん</sup>し、<sup>けんり</sup>自<sup>ぎ</sup>分の<sup>む</sup>権利<sup>む</sup>と<sup>せきにんかん</sup>義務<sup>も</sup>と<sup>しゃかい</sup>責任感<sup>しゃかい</sup>を持ち、<sup>しゃかい</sup>社会<sup>しゃかい</sup>に<sup>はたら</sup>働<sup>はたら</sup>き<sup>はたら</sup>かける。
- ⑤ <sup>がいこくじん</sup>外国人<sup>が</sup>だけで<sup>がんば</sup>頑<sup>にほんじん</sup>張<sup>つな</sup>らない<sup>つな</sup>で<sup>つな</sup>日本人<sup>つな</sup>と<sup>つな</sup>繋<sup>つな</sup>が<sup>つな</sup>って<sup>つな</sup>いく。



# Kawasaki City Representative Assembly for Foreign Residents



かわさきしがいこくじんしみんだいひょうしゃかいぎ  
川崎市外国人市民代表者会議



ねん ど お ー ぶ ん か い ぎ

# 2012年度 オープン会議

～ 外国人の住みやすいまちは、日本人も住みやすい ～

♪♪♪♪ 2012年12月9日(日) 14:00～17:00 ♪♪♪♪

♪♪♪♪ 川崎市産業振興会館 4F 企画展示場 ♪♪♪♪

1 主催者及び川崎市あいさつ 14:00

2 代表者会議の説明 及び 第9期代表者の自己紹介

3 「ぼうさい出前講座」 ～～ 災害に対する備えと知識 ～～

講師 川崎市総務局危機管理室 14:40～15:40

《 休憩 》

1 分科会 15:50～16:20

◇ 福祉教育 ～ 家庭教育・母語教育・異文化交流 ～

コメンテーター 慶應義塾大学経済学部教授 柏崎 千佳子 氏

◇ 社会生活 ～ 情報伝達・地域活動への参加 ～

コメンテーター 駒澤大学法学部教授 中野 裕二 氏

2 全体会 16:20～16:50

◇ 分科会発表

◇ 全体話し合い ～ コメンテーターからひとこと

3 閉会 16:50

\*\*\*\*\*

交流パーティ (17:00～17:45)

飲み物やお菓子を用意しています。お時間のある方は、受付で、お申込みください。

第9期川崎市外国人市民代表者会議でこれまでに提出された意見

| 1 情報提供について  |
|---|
| <p>これまで審議したテーマのすべてで、情報提供の問題がありました。</p> <p>例えば…</p> <p>&lt;窓口対応に関連して&gt;</p> <p>① 区役所で、相談窓口などのリストを配布しているが、そのことが知られていない。</p> <p>② 外国人市民は、区役所に行く機会が減り、どう情報を伝えるかが問題。</p> <p>&lt;地域活動への参加、町内会に関連して&gt;</p> <p>③ どう加入するかわからない。</p> <p>④ 回覧板が全部日本語でわからない。多言語を求めるのは難しいが、分かりやすい日本語にしてほしい。</p> <p>⑤ 町内会がどんな活動をしているかわからない。</p> <p>&lt;家庭教育に関連して…&gt;</p> <p>⑥ 日本語は分かるが、制度を知らない。経験者の相談会があると良い。</p> <p>⑦ たくさんの制度があるのをどう活用するか、知らせるか、→情報を広く伝える。</p> <p>小学校や中学校入学時に、外国人向けに教育についての説明会を開く</p> |
| <p>参加者のみなさんに特にお聞きしたいこと</p>  |
| <p>◎ 市民（特に、外国人市民）に、情報を伝えるためのアイデアがありますか？</p> <p>◎ 特に伝えてほしい情報がありますか？</p>  |

第9期川崎市外国人市民代表者会議でこれまでに提出された意見

| 1 家庭教育   |
|--|
| <p>課題・困っていること</p> <p>【保護者として】</p> <p>① 学校に子どもが「日本人ではない、変。」と言われる。</p> <p>② 母国で教育を受けているので、日本語を話せても、日本の教育システムは分からない</p> <p>③ 家庭で算数などの教科を教えられない。</p> <p>④ 親が学校のプリントなどが読めない。親子の間にも言葉の壁があるので、ルビ振りが必要。</p> <p>【親子関係】</p> <p>⑤ 子どもは中学校の競争社会でストレスがたまり、家庭で発散している。</p> <p>⑥ 子どもは成長に合わせて、困ることも変わる。大人の考えと子どもの考えが違っている。</p> <p>⑦ 子どもとの時間が少ない。部活時間を減らすなどシステムを変えたい。</p> <p>【家庭の文化】</p> <p>⑧ 韓国では夫婦別姓で子どもと母の氏が違う。そのことを日本社会で説明するのが大変。</p> <p>⑨ 子どもが自分の国の文化などを理解しにくい。特に、里帰りのときに感じる。</p> <p>⑩ 国の文化のままでもいいのか。日本に合わせた方がいいのか。</p> <p>⑪ 子どもは今二重国籍。将来どちらにしようか悩む。</p> <p>【地域社会】</p> <p>⑫ 近所の人、日本人と交流がない。仲間に入れてほしい。</p> |
| <p>会議で話し合ったこと</p> <p>【保護者同士の交流】</p> <p>① 日本語ができない親の悩みや情報交換の場（スペース）をつくる。</p> <p>② 子育て中の外国人のネットワークを増やす。</p> <p>③ キック国際フェスタを開いて、文化や家庭の問題、教育の問題を話し合ったり、紹介してはどうか。</p> <p>【子育てや教育に関する情報の提供】</p> <p>④ 日本の教育のシステムを理解して、保護者の家庭教育をサポートする。</p> <p>⑤ 小学校や中学校入学時に、外国人の親を集めた説明会や先生との交流の場を作ってはどうか。</p> <p>⑥ 代表者が、日本で生きるための、自分を知るセミナーを開催し、それを広報してもらう。</p> <p>【地域や学校の多文化理解教育の充実】</p> <p>⑦ TVで外国の文化を紹介する番組を流す。日本人もそれを見て、外国の文化を知ってほしい。TVは影響力が大きい。伝えるには内容にインパクトがあるものが必要。</p>   |

| 2 地域活動への参加について  |
|---|
| <p>① 町内会の役員は、ボランティアでやらなくては行けないが、時間がない。</p> <p>② 日本人もあまり積極的に活動しない人が多い。</p> <p>③ 町内会の活動は、みんなで、まちを作っていくということ。他人が入らないから入らないというのでは良くない。</p> <p>④ 日本は安全、これからは安全に暮らしていくためには、こうした活動に参加していくことは大切。</p> <p>⑤ 子どもの活動もあり、重要。</p> <p>⑥ 加入している人と加入していない人が出てきているのが問題。加入するメリットが増えればよい。</p> <p>⑦ どう加入するかわからない。</p> <p>⑧ 自分が加入しているかどうかわからない。</p> <p>⑨ 回覧板が全部日本語でわからない。多言語を求めるのは難しいが、分かりやすい日本語にしてほしい。</p> <p>⑩ どんな活動をしているかわからない。</p> <p>⑪ 回覧板に、「子どもを持つ外国人がいたら、この内容を伝えてください」と書いてあり、内容を近所の人が教えてくれたことがあった。</p> <p>⑫ 町内会の活動はとても重要なもの。日本人も外国人も加入すると良い。</p> <p>⑬ 加入の呼びかけをするとよい。</p> |
| <p>参加者のみなさんに特にお聞きしたいこと</p>  |
| <p>◎ 外国人も日本人も、多くの人が地域活動に参加するためのアイデアがありますか？</p> <p>◎ 外国人も日本人も、多くの人が町内会・自治会に加入するためのアイデアがありますか？</p>  |

|  |
|--|
| <p>⑭ ボランティアできる外国人を集めて学校で自分の文化について話してもらおう。→外国人の子ども自身に自分の出身文化について発表（紹介）させたほうが、自信や誇りになってよい。</p> <p>【親子のコミュニケーション】</p> <p>⑮ 親も仕事ばかりなので、子どもの長期休暇に合わせて親子の時間がとれるような休みがほしい。</p> <p>⑯ 家の中でプレッシャーを感じないように、家庭に自分の居場所を作る。</p>  |
| <p>市の現状</p> <p>① P.T.Aが家庭教育学級を開くことができるよう、アドバイスを行ったり、講師の謝礼を支払ったり、講師を紹介するなどの支援を行っている。</p> <p>② 地域の子育て支援グループが家庭教育学級を開くことができるよう、アドバイスを行ったり、講師の謝礼を支払ったり、市民館などの会場を用意したり、広報をするなどの支援を行っている。</p> <p>③ 市民館と教育文化会館で、子どもを連れた親の交流のための子育て広場を開催。</p> <p>④ 市民館、分館、教育文化会館で家庭教育を学ぶ講座を開催。保護者が安心して学べるよう、保育つきとなっている。</p> <p>⑤ 区や全市で協議会を開き、家庭教育への支援の方法などについて話し合っている。</p> |
| <p>参加者のみなさんに特にお聞きしたいこと</p>   |
| <p>◎ 家庭のことで困っている保護者をサポートするためのアイデアがありますか？</p>   |
| <p>2 母語教育</p> <p>① 2000年度に代表者会議から提言が出ており、A評価になっているが、その後の取り組み状況が知りたい。</p> <p>② 外国人学校のような母語教育を行う学校が少なく、地域で母語について学べるとよい。</p>  |
| <p>参加者のみなさんに特にお聞きしたいこと</p>   |
| <p>◎ 外国につながる子どもがルーツとなる言語や文化を学べるようにするためのアイデアがありますか？</p>   |
| <p>3 異文化交流</p> <p>① いじめや差別をなくすために、異文化交流が必要。</p> <p>② 外国人を日本人にきちんと理解してもらうために、異文化交流が必要。</p>  |
| <p>参加者のみなさんに特にお聞きしたいこと</p>   |
| <p>◎ 異なる文化を持つ人々が互いの文化を学びあい、交流するためのアイデアがありますか？</p>  |



かくしゅかつどうじょうきょう  
Ⅱ 各種活動状況

## 1 市長・市議会への報告

川崎市外国人市民代表者会議条例第11条第1項「委員長は、毎年、代表者会議の調査審議の結果をまとめ、市長に報告しなければならない。」及び第2項「市長は、前項の規定による報告を受けたときは、議会に報告するとともに、これを公表するものとする。」に基づき、市長、市議会に2011年度の代表者会議の報告をしました。

### 1 市長への報告

2012年4月20日、第8期のオパンゴ デケ委員長、王平副委員長、チャート デビット 社会生活部会長、エドモンド ダンカン 教育文化部会長が阿部孝夫市長へ2011年度年次報告書を提出し、1年間の活動の内容について報告しました。



### 2 市議会への報告

2012年4月20日、市民・子ども局長（市長代理）が市議会正副議長へ2011年度年次報告書を提出し、4月25日、市議会市民委員会において市民・子ども局長・男女共同参画室外国人市民施策担当が年次報告書の概要を説明しました。

5月30日、オパンゴ デケ委員長、王平副委員長が市民委員会に参考人として出席し、年次報告書をもとに、2011年度の活動について説明しました。この参考人招致は、市民委員会が代表者会議からの意見を聞き、調査等の参考とするために毎年行われてきたものです。

市民委員会の委員長からは、次のようなコメントがありました。

「大変活発に活動されていることがよくわかりました。また、今年度は2年間の調査審議に基づいてまとめられた提言を市長へ提出されたと伺っております。正副委員長さんを始めとする代表者会議のメンバーの方々の努力に改めて敬意を表したいと思います。」

## 2 オープン会議の企画・運営

オープン会議は、代表者会議の臨時会議として、代表者以外の外国人市民や日本人市民の方々からのいろいろな意見や専門家の話を聴いて審議に活かすことを目的に開催しました。会議のプログラムや広報、当日の進行などは、実行委員会で話し合っただけで企画案を作り、全体会議に諮り、代表者全員が役割を分担して実施しました。

### 1 実行委員

王平（実行委員長）、シャルマ ガジェンダー（副実行委員長）、安栄一、許可欣、シフケン ブランドン、シャヒン セルカン、セヌー ジョアキム、朴昌浩

### 2 実行委員会の開催

開催日 2012年 7/8（日） 9/9（日） 10/14（日） 11/18（日）

各回の会議の前に行いました。オープン会議の内容、目的、広報の方法、当日のプログラム、役割分担などについて話し合いました。

### 3 会議の広報

今年もオープン会議の広報として、市内の日本語教室（ふれあい館、国際交流センター、各区分市民館）を訪問し、会議への参加を呼びかけました。

「かわさきFM」の川崎市広報ラジオ番組では6言語による放送を行い、テレビ神奈川の川崎市広報番組では代表者が出演し代表者会議とオープン会議のPRをしました。

### 4 当日の主な役割分担

全体責任者

全体会司会

福祉教育分科会

司会

記録

社会生活分科会

司会

記録

タイムキーパー

王平、シャルマ ガジェンダー

許可欣、シフケン ブランドン

シャルマ ガジェンダー

王 夕心

チャート デビド

安 栄一

柳澤 アンナ



### 5 代表者の感想

① 初めての会場で分かりにくかった。

② 参加者から意見を聞く時間が短かった。

- ③ 「ぼうさい出前講座」を聞いて、家中を点検した。
- ④ 隣の分科会の声が聞こえたので、パーティーが必要だった。

### 3 ニューズレターの編集

ニューズレターは、代表者会議をより広く外国人市民及び日本人市民に知ってもらうこと、代表者会議を接点とした外国人市民と日本人市民の交流の機会とすることを基本方針として、編集委員会で毎号の編集内容を話し合い、市が発行しています。

#### 1 編集委員

ガンリヨンイン（委員長）、呉群、孔敏淑、園田泉ベアトリス、チャートデビト、楊奕

#### 2 編集委員会の開催

| かい回     | ねんがつび年月日             | ないよう内容   |
|---------|----------------------|--|
| だいかい第1回 | ねんがつようか2012年7月8日（日）  | へんしゅういんちようせんしゅつねんかんけいかくにゅーずれたー編集委員長の選出、年間計画、ニューズレターNo.46の記事・レイアウトの検討 |
| だいかい第2回 | がつこのか2012年9月9日（日）    | No.46の記事・レイアウトの検討、ほんやくこうせいたんとうしやくかくにん翻訳校正担当者の確認                      |
| だいかい第3回 | がつ2012年11月18日（日）     | No.47の記事・レイアウトの検討  |
| だいかい第4回 | ねんがつほつか2013年1月20日（日） | No.47の記事・レイアウトの検討、まとめ  |

#### 3 今年度発行のニューズレターと主な内容

No.45 7月31日発行

- 1ページ：第9期代表者会議がスタート、年間スケジュールのお知らせ
- 2～3ページ：第9期代表者の紹介
- 4ページ：2011年度の活動内容を市長・市議会に報告、委員長・副委員長の紹介

No.46 10月1日発行

- 1ページ：代表者会議の各種イベント案内、会議スケジュールのお知らせ
- 2ページ：市内視察実施報告、新代表者の紹介
- 3ページ：社会生活部会、福祉教育部会の内容紹介
- 4ページ：代表者会議が海外書籍で紹介される、  
あたらしいざいりゅうかんりせいど新しい在留管理制度Q&A－（外国人市民のためのお役立ち情報）

1ページ：オープン会議開催報告

2ページ：市民祭り、多文化フェスタ参加報告、

3ページ：審議の内容紹介（福祉教育部会、社会生活部会）、  
「外国人のみなさんへ」リニューアルのお知らせ

4ページ：川崎市のお花見スポット紹介（外国人市民のためのお役立ち情報）、  
2013年度年間スケジュールのお知らせ

発行部数：日本語 3,000部、韓国・朝鮮語、中国語、英語、スペイン語、ポルトガル語、  
タガログ語 各700部

配布先：区役所・支所、市民館、図書館、行政サービスコーナー、国際交流センター、  
市立保育園、市立小・中・高等学校、市内県立高等学校・大学・朝鮮学校等、  
日本語教室等外国人に関わる団体、留学生寮、エスニックメディア、他都市の  
外国人市民施策担当部局など。なお、代表者会議のホームページにも掲載。



#### 4 翻訳チェック担当者

|        |          |        |              |
|--------|----------|--------|--------------|
| 中国語    | ガン リョンイン | 英語     | チャート デビト     |
| 韓国・朝鮮語 | 孔 敏淑     | ポルトガル語 | 園田 泉 ベアトリス   |
| スペイン語  | 生出 オリエッタ | タガログ語  | サルヴィオ ローズマリー |

#### 5 まとめ

今年度のニューズレターは、できるだけタイムリーに情報を届けることを目指しました。  
まず、新しい在留管理制度については、2011年度のニューズレターでもお知らせしました  
が、さらに制度が始まってから気づいた制度の分かりにくい点についてQ&Aという形で  
掲載し、情報伝達の問題に代表者会議として取り組むことができました。また、記事の内容

が硬く、読みにくい、と感じないように、お花見スポットの紹介など親しみやすくする工夫もしました。これからも外国人市民の課題解決の取り組みの一つとして、ニュースレターを積極的に活用していきたいと思えます。

#### 4 多文化フェスタみぞのくちへの参加

「多文化フェスタみぞのくち」は、地域に暮らす障がいのある人や外国人、子どもや高齢者などさまざまな立場の人々が交流し、多文化共生のまちづくりをすすめる高津市民館の自主事業で、代表者会議も「市民との交流や相互理解を深めるとともに代表者会議の広報を行うこと」を目的に実行委員会で企画を立てて参加しました。

多文化フェスタみぞのくち 2012  
 日時 2012年10月20日(土) 10:30~15:00  
 場所 川崎市高津市民館(ノクティ2) 11階

#### 1 実行委員

生出オリエッタ(実行委員長)、  
 ケオパサアト ラツアミチャン、コロンツイ カロル、  
 崔 想、仲田 シリワン、法邑 カレン ウイルフリダ



#### 2 実行委員会の開催

開催日 7/8(日) 9/9(日)  
 10/14(日) 11/18(日)

代表者会議の前に開催しました。

#### 3 活動内容

[料理屋台を出店]

- ① ごま団子
- ② タイカレーそうめん
- ③ ちぢみ
- ④ ブラジルのギョーザ



## 広報資料の配布

- ① ニュースレター
- ② オープン会議チラシ
- ③ 市民祭りチラシ



## 4 代表者の感想

- ① たくさんの人々と触れ合う機会になってよかったと思う。
- ② とても面白い活動です。
- ③ 市のイベントだけではなく代表者同士の中でもこうした交流があればいいと思う。  
たとえば「Family Festa」など（土曜か日曜の3時のCaféなど）。
- ④ できれば全員が参加してほしかった。会議だけが活動ではないと思う。
- ⑤ 今年は料理のメニューが豊富だった。来年も参加したいが、できれば、ほかの国の料理も出してほしい。
- ⑥ 自分の国を愛しているという気持ちが伝わってきました。
- ⑦ 全てよかった。みんなともっと仲良くなりました。いい経験でした。

## 5 かわさき市民祭りへの参加

外国人市民と日本人市民の交流を深め、各国の紹介と代表者会議の広報を行うことを目的に、今年度もかわさき市民祭りに参加しました。

### 1 実行委員

王 夕心（実行委員長）、エドモンド ダンカン（第35回かわさき市民祭り実行委員）、サルヴィオオローズマリー、中村ジュディス、柳澤 アンナ

### 2 実行委員会の開催

開催日 7/8（日） 9/9（日） 10/14（日） 11/18（日）代表者会議の前に開催しました。

### 3 第35回 かわさき市民祭り 参加概要

日程 2012年11月3日（土）、4日（日）

場所 川崎区富士見公園一帯（ふるさと交流広場）

内容 テントでのイベント（世界のお茶提供、世界の人形、コイン展示、魚釣りゲーム、世界のクイズ、世界の遊具、代表者会議資料の配布等）、パレードへの参加（4日）、ステージイベント（3日、4日）

ステージの内容 ～各国の歌と踊り～

かんこくぶよう  
♪韓国舞踊

ちゅうごく にこ びわ  
♪中国の二胡、琵琶

がいこくじんしみんだいひょうしゃかいぎ しょうかい  
♪外国人市民代表者会議の紹介



パレード



テント

#### 4 代表者の感想

- ① ステージでの紹介、ブースで行ったイベント等である程度の宣伝効果はあった。
- ② もう少し代表者会議とオープン会議の宣伝を工夫するとよい。
- ③ 市民に知ってもらうため、このイベントには参加した方がよい。
- ④ ある程度広報ができたと思う。
- ⑤ 皆が一つにまとまっていた。
- ⑥ たくさんの人が代表者のテントを訪れ、交流ができたので代表者会議の広報になった。
- ⑦ 外国の文化に興味がある方が参加した。
- ⑧ ステージ上での自己紹介等により広報ができた。
- ⑨ 日本にいながら外国に行った気分になれる楽しみの場となって欲しい。



ステージイベント 韓国舞踊



外国人市民代表者会議の紹介



## 6 事前説明会

第9期代表者会議のスタートにあたり、川崎市政や代表者会議についての理解を深めること  
によって、会議への参加意欲を高めるとともに、前もって会議の進め方を確認しておくこと  
で、審議をスムーズに行うことができるようにするため、事前説明会がありました。

当日は、川崎市を紹介するDVDを観たり、代表者会議の歴史やしくみなどの説明を聞き  
ました。

また、休憩時間を利用したティータイムには、経験者もまじえて懇談を行い、今後2年間  
いっしょに審議を行う代表者同士、また代表者と事務局のコミュニケーションを図ること  
ができました。

最後に、経験者から見た代表者会議の意義と役割などについて話を聞き、活動に対する  
アドバイスや激励のメッセージをいただきました。

- |   |      |                |                 |
|---|------|----------------|-----------------|
| 1 | 日 時  | 2012年3月18日 (日) | 午後1時30分～午後4時30分 |
| 2 | 場 所  | 高津区役所          | 会議室             |
| 3 | 参加人数 | 21名            |                 |
| 4 | 内 容  |                |                 |

- 川崎市について ①外国人市民の状況 ②市役所のしくみ ③外国人市民施策
- 川崎市外国人市民代表者会議について  
①会議のしくみと進め方 ②提言と市の施策に反映されるしくみ
- 代表者会議経験者からのメッセージ、意見交換
- 質疑応答

## 7 市内視察

第9期代表者として川崎市のことをよりよく知り、今後の審議に活かすために市内視察を  
実施しました。

- |   |          |                |              |
|---|----------|----------------|--------------|
| 1 | 日 時      | 2012年7月29日 (日) | 午前9時45分～午後4時 |
| 2 | 参加人数     | 15人            |              |
| 3 | 視察先と主な内容 |                |              |

- ふれあい館  
館長の話と施設内見学 (ふれあい館の成り立ち、事業説明)

(2) 市民ミュージアム

学芸員の説明と施設内見学 (川崎の成り立ちと歩み、展示について)

(3) 中原図書館

館長の話と施設内見学 (外国語図書の現状、本を寄付する方法)

(4) 中原市民館

担当者の話と保育室等施設内見学 (識字・日本語学級、市民館事業)

(5) 市民活動センター

担当者の事業内容説明と施設内見学



市民活動センター

4 代表者の感想

(1) あることは知っていたが、中に入ったことのない場所で内容がわかりよかった。

(2) 川崎を知るといことでとても役立ったので、今後もこのような機会があるとよい。

8 フィールドワーク等

1 自主勉強会の開催

(1) 日時 2012年5月27日(日) 午後1時10分～1時50分

(2) 参加人数 10人

(3) 内容：代表者会議の過去の提言内容や2年間の会議の流れ、調査審議の方法について

2 中原市民館「家庭・地域教育学級」への参加

(1) 日時 2013年3月9日(土) 午前10時～12時

(2) 参加人数 6人

(3) 内容「多文化家族の子育て

～日本での子育て、自分らしい子育て」



中原市民館「家庭・地域教育学級」

3 ふれあい館「ダガットクラブ」の視察

(1) 日時 2013年3月9日(土) 午後3時～5時

(2) 参加人数 7人

(3) フィリピンにルーツのある子どもたちを対象にした、フィリピンの文化を学ぶ

「ダガットクラブ」の見学及び担当者との意見交換。

## 9 代表者の活動状況

「要求から参加へ」をキーワードに、代表者は会議での調査審議のほか、代表者会議の代表者という立場で行政の各種委員等の活動を行ったり、個人として学校、市民館等の講師をするなど、積極的に社会参加をしています。

### 【代表者会議代表者としての活動】

| 委員会等               | 事務局・主催者        | 代表者名         |
|--------------------|----------------|--------------|
| 川崎市青少年問題協議会        | 市民・子ども局 青少年育成課 | エドモンド ダンカン   |
| 川崎市成人式企画実施委員会      | 市民・子ども局 青少年育成課 | 王 夕心         |
| 第35回かわさき市民まつり実行委員会 | 経済労働局 商業観光課    | エドモンド ダンカン   |
| 川崎市国際交流協会評議員       | (公財)川崎市国際交流協会  | 許 可欣         |
| 川崎市国際交流センター活用推進委員会 | (公財)川崎市国際交流協会  | 許 可欣         |
| 多文化フェスタみぞのくち実行委員会  | 高津市民館          | 生出 オリエッタ     |
| 外国人日本語スピーチコンテスト審査員 | (公財)川崎市国際交流協会  | わん びん<br>王 平 |

### 【個人としての活動】

#### 1 日本語指導等協力者など（学校での日本語講師やESL講師など）

| 代表者名       | 学校名   |
|------------|---|
| エドモンド ダンカン | ひがしもんぜんしょうがっこう 藤崎小学校、ふるいちばしょうがっこう 古市場小学校、たかつしょうがっこう 高津小学校 |

#### 2 その他公的施設・機関

| 代表者名                | 活動内容                                  | 実施団体・主催者                                  |
|---------------------|---------------------------------------|---|
| なかだ しりわん<br>仲田 シリワン | おいしくあじあんたいりょうり こうざ<br>美味しくアジアタイ料理の講座  | かわさきしきょういくいいんかい たまくやくしよ<br>川崎市教育委員会・多摩区役所 |
|                     | TEC Club                              | たまくやくしよ<br>多摩区役所                          |
|                     | たぶんかたいかていりょうり せかい<br>多文化タイ家庭料理（世界ひろば） | たまくやくしよ<br>多摩区役所                          |
|                     | たいりょうり つく せいねんきょうしつ<br>タイ料理を作ろう（青年教室） | たまくやくしよ<br>多摩区役所                          |
|                     | かくこく かれー まな ふえあ<br>各国のカレー（たま学びのフェア）   | たまくやくしよ<br>多摩区役所                          |
|                     | たぶんかかふえ こぞだ<br>多文化カフェ（たまたま子育てまつり）     | たまくやくしよ<br>多摩区役所                          |

\*この報告は本人の申し出により作成しました。

## 10

せんもんちょうさいん かつどうじょうきょう  
専門調査員の活動状況

かわさきしがいこくじんしみんしきくせんもんちょうさいん だひょうしやかいぎ せいふくいんちようぶかいちようかいぎ しゅつせき  
川崎市外国人市民施策専門調査員として代表者会議、正副委員長部会長会議に出席したほか、次のような活動を行いました。

1 じょうほうしゅうしゅう ちょうさ  
情報収集、調査

- ① かわさきしぎかいしんみんいんかい ぼうちよう ねん がつ にち  
川崎市議会市民委員会 傍聴 (2012年4月25日)
- ② かながわじんけんせんたー だい じじんけんがっこう さんか ねん がつ か  
神奈川県権センター「第18期人権学校」参加 (2012年5月24日)
- ③ がいこくじんしゅうじゅうとしかいぎさんか ねん がつ にち  
外国人集住都市会議参加 (2012年11月12日)
- ④ かんこくこくさいこうりゅうききんぐろーばるせみなーさんか ねん がつ にち がつみつか  
韓国国際交流基金グローバルセミナー参加 (2012年11月29日～12月3日)
- ⑤ とけんしがいこくじんそうだんきかくけんきゅうかいさんか ねん がつ か  
9都県市外国人相談企画研究会参加 (2013年2月14日)

2 こうほう けいはつ こうりゅうかつどう  
広報・啓発・交流活動

- ① かわさきしがいこくじんしみんだいひょうしやかいぎ に ゆー ず れ た ー へんしゅう  
川崎市外国人市民代表者会議ニューズレター No. 45、46、47 編集
- ② かわさきしがいこくじんしみんだいひょうしやかいぎ ほーむ ペー じ にほんごばん えいごばん ずいじじょうほうこうしん  
川崎市外国人市民代表者会議ホームページ(日本語版・英語版) 随時情報更新
- ③ かわさきしほーむ ペー じ がいこくじんしみんしきくたんどう ペー じ ずいじじょうほうこうしん  
川崎市ホームページ 外国人市民施策担当のページ 随時情報更新
- ④ たぶんかふえすた さんか ねん がつ はつか  
多文化フェスタみぞのくち参加 (2012年10月20日)
- ⑤ かわさきしみんまつ さんか ねん がつ ぶつか がつ みつか がつ よつか  
かわさき市民祭り参加 (2012年11月2日、11月3日、11月4日)
- ⑥ おーぶんかいぎこうほう しな い にほんごきょうしつ ほうもん ねん がつ ここのか がつ にち  
オープン会議広報のため市内の日本語教室を訪問 (2012年10月9日、10月30日)

3 しりょう ほうこくしよさくせい  
資料・報告書作成

- ① ねん どころかわさきしがいこくじんしみんだいひょうしやかいぎ だい かい だい かいぎじろく  
2012年度川崎市外国人市民代表者会議 第1回～第4回議事録
- ② ねん どころかわさきしたぶんかきょうせいしきくけんとういんかい だい かい だい かい だい かいぎじろく  
2012年度川崎市多文化共生施策検討委員会 第1回～第3回、第5回～第6回議事録
- ③ かわさきしがいこくじんしみんだいひょうしやかいぎだいひょうしやせんこういんかい だい かい だい かいぎじろく  
川崎市外国人市民代表者会議代表者選考委員会 第1回～第2回議事録
- ④ かいぎ すす かつ か こ ていげん ねん がつ にちじしゅべんきょうかいしりょう  
会議の進め方と過去の提言について (2012年5月27日自主勉強会資料)
- ⑤ これまで だ 出されている 提言について (テーマ別) (2012年9月9日)
- ⑥ ほうかご こ りょう しせつ ねん がつ か  
放課後子どもが利用できる施設について (2012年10月14日)
- ⑦ ぶかつどう ねん がつ か  
部活動について (2012年10月14日)
- ⑧ がいこくせきじどうせいとすう ねん がつ か  
外国籍児童生徒数について (2012年10月14日)
- ⑨ こ ほうかご きゅうじつ す かつ ねん がつ か  
子どもの放課後や休日 日の過ごし方について (2012年10月14日)
- ⑩ ほうかご し しせつ りょう こ にんずう ねん がつ にち  
放課後、市の施設を利用する子どもの人数について (2012年11月18日)
- ⑪ おーぶんかいぎふくしきょういくぶんかかいしりょう ねん がつ ここのか  
オープン会議福祉教育分科会資料 (2012年12月9日)
- ⑫ かにきょういく ねん がつ にち ねん がつ はつか  
家庭教育のまとめ (2012年11月18日) (2013年1月20日)
- ⑬ かわさきしな い ぼ ぎょういく ねん がつ はつか  
川崎市内の母語教育について (2013年1月20日)

- ⑭ 母語教育について (2013年2月17日)
- ⑮ 異文化交流について (2013年2月17日)
- ⑯ ニュースレター編集委員会資料 随時

#### 4 庁内会議等への出席

- ① 川崎市人権・男女共同参画推進連絡会議幹事会外国人市民施策専門部会  
(2012年8月28日、2013年3月19日)
- ② 川崎市多文化共生施策検討委員会  
(2012年6月1日、8月3日、9月28日、2013年1月11日、2月13日)
- ③ 川崎市外国人市民代表者会議代表者選考委員会  
(2012年8月23日、2013年3月22日)
- ④ 川崎市ホームページリニューアルに伴う外国人市民向けページ打ち合わせ出席  
(随時)

#### 5 まとめと課題

今年度は第9期代表者会議の1年目にあたります。新しい試みとして、代表者を中心に会議の仕組みや提言についての自主勉強会を行うことができました。代表者から様々な疑問や課題を聞き、審議をより充実させるためにどのようなサポートが必要かを考えるのは事務局である専門調査員の役割ですが、代表者の自主的な取り組みをサポートすることができたことは一つの成果だと思います。

また、今年度は市のホームページがリニューアルし、日本語に加えて7言語のページが新しく設けられました。これまで日本語のページの中に埋もれ、見つけにくかった多言語情報が、外国人市民の方により使いやすい形に改善されました。この多言語化のプロセスに専門調査員として関わることができたことは、大きな経験になりました。また、やさしい日本語のページも新設され、「何を伝えるか」、に加え、「いかに伝えるか」にも力を入れた情報発信の取り組みが進んでいます。

今後は、市の多言語情報をより効果的に発信することに加え、代表者の中から出たアイデアを形にし、会議運営の改善や新しい視点からの提言の策定に結びつけられるよう努めたいと思います。

専門調査員 西口 里紗